

平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	災害警備活動に係る活動旅費等		担当部局	長官官房		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	会計課		会計課長 北村 博文			
会計区分	一般会計 東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	別添参照					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第7号 警察法施行令第2条第7号		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災による行方不明者の搜索、遺体の検視・身元確認、被災地の交通規制及びパトロール、警戒区域の検問・警ら活動等、被災地における災害警備活動を行うための旅費等について国庫が支弁する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大規模な災害における警備活動に要する活動旅費、車両輸送費について、国庫が支弁している。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	0	1,086	-	-		
		補正予算	-	8,112	0	-	-		
		繰越し等	-	0	456	-	-		
	計		-	8,112	1,542	-	-		
	執行額		-	7,705	1,493	-	-		
執行率(%)		-	95%	97%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	(成果目標) 災害警備活動に要する経費の確保			成果実績	百万円	-	7,705	1,493	
	(成果指標) 災害警備活動に要する経費の執行額			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	同上			活動実績 (当初見込み)	百万円	-	7,705 (8,112)	1,493 (1,086)	(-)
	1,493,173千円 / 年			算出根拠	年間執行額(平成24年度)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	計	-	-						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			災害警備活動に要する経費であり、東日本大震災からの復旧・復興という観点から国民のニーズは高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			本経費は、部隊の派遣状況によって所要額が左右されるものであるが、執行に当たっては、旅費法等に従って適正な執行を図っている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			本経費は、部隊の派遣状況によって所要額が左右されるものであるが、執行に当たっては、旅費法等に従って適正な執行を図っている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			本経費は、部隊の派遣状況によって所要額が左右されるものであるが、執行に当たっては、旅費法等に従って適正な執行を図っている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 会計の監査に関する規則(平成16年国家公安委員会規則第9号)に基づき、毎年度、警察庁・管区警察局において、全部局を対象に、旅費の支払い物件費の契約等について、正確性、合規性、経済性及び効率性の観点から会計検査を計画的に実施していることに加え、各都道府県警察においても内部監査を計画的に実施し、支出内容を確認している。					
	2 見直しの余地 本経費は、国の治安責任を果たすために必要な経費である。 本経費は、部隊の派遣状況によって所要額が左右されるものであるが、要求時における災害警備活動の状況等を勘案し、適正な予算積算に努めているところである。					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	おおむね具体的で十分な内容と認められる。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	平成25年度以降復興庁計上事業として実施(復興庁行政事業レビューシート事業番号「25新-011」)					
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	復興2	平成24年	64

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁
1,493百万円

〔地方機関及び都道府県警察に、災害警備活動に要する予算を配賦〕

【予算配賦】

A. 東北管区警察局
0.01百万円

〔活動旅費等を執行〕

<活動旅費>

C. 警察職員
0.01百万円

〔被災地における災害警備活動に従事する警察職員に対して、活動に要する旅費を支出〕

【予算配賦】

B. 都道府県警察

警視庁
146百万円

府県警察(40機関)
1,347百万円

〔活動旅費等を執行〕

<活動旅費>

D. 警察職員
146百万円

〔被災地における災害警備活動に従事する警察職員に対して、活動に要する旅費を支出〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.警視庁			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	活動旅費	146			
計		146	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.警察職員			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
活動旅費	災害警備活動に要する旅費	146			
計		146	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北管区警察局	予算配賦	0.01		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警視庁	予算配賦	146		
2	大阪府警察	予算配賦	138		
3	神奈川県警察	予算配賦	118		
4	愛知県警察	予算配賦	101		
5	新潟県警察	予算配賦	75		
6	兵庫県警察	予算配賦	72		
7	埼玉県警察	予算配賦	68		
8	千葉県警察	予算配賦	64		
9	広島県警察	予算配賦	59		
10	岐阜県警察	予算配賦	49		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警察職員	災害警備活動に要する経費	0.01		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警察職員	災害警備活動に要する経費	146		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

政策・施策名

